

表1 事故件数の年度別推移

平成23年度  
(件)

	平成														
	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年					
01.家庭用電気製品	826 ( 48.2%)	630 ( 39.6%)	939 ( 44.4%)	738 ( 36.1%)	1172 ( 39.1%)	2377 ( 40.1%)	< 532> ( 48.6%)	2266 ( 50.0%)	< 660> ( 51.3%)	2010 ( 53.0%)	< 486> ( 46.2%)	2315 ( 55.3%)	< 490> ( 47.5%)	2410 ( 60.0%)	< 590> ( 51.4%)
02.台所・食卓用品	16 ( 0.9%)	24 ( 1.5%)	23 ( 1.1%)	22 ( 1.1%)	70 ( 2.3%)	116 ( 2.0%)	< 10> ( 0.9%)	137 ( 3.0%)	< 12> ( 0.9%)	158 ( 4.2%)	< 7> ( 0.7%)	79 ( 1.9%)	< 8> ( 0.8%)	78 ( 1.9%)	< 9> ( 0.8%)
03.燃焼器具	505 ( 29.5%)	539 ( 33.9%)	565 ( 26.7%)	853 ( 41.8%)	1112 ( 37.0%)	1385 ( 23.3%)	< 334> ( 30.6%)	936 ( 20.6%)	< 403> ( 31.3%)	695 ( 18.3%)	< 356> ( 33.9%)	686 ( 16.4%)	< 320> ( 31.1%)	724 ( 18.0%)	< 336> ( 29.3%)
04.家具・住宅用品	51 ( 3.0%)	64 ( 4.0%)	50 ( 2.4%)	72 ( 3.5%)	153 ( 5.1%)	279 ( 4.7%)	< 63> ( 5.8%)	328 ( 7.2%)	< 82> ( 6.4%)	214 ( 5.6%)	< 69> ( 6.6%)	399 ( 9.5%)	< 90> ( 8.7%)	297 ( 7.4%)	< 76> ( 6.6%)
05.乗物・乗物用品	184 ( 10.7%)	154 ( 9.7%)	323 ( 15.3%)	183 ( 9.0%)	186 ( 6.2%)	153 ( 2.6%)	< 60> ( 5.5%)	167 ( 3.7%)	< 53> ( 4.1%)	164 ( 4.3%)	< 73> ( 7.0%)	241 ( 5.8%)	< 69> ( 6.7%)	169 ( 4.2%)	< 64> ( 5.6%)
06.身のまわり品	77 ( 4.5%)	73 ( 4.6%)	98 ( 4.6%)	86 ( 4.2%)	220 ( 7.3%)	1252 ( 21.1%)	< 67> ( 6.1%)	418 ( 9.2%)	< 39> ( 3.0%)	229 ( 6.0%)	< 32> ( 3.0%)	201 ( 4.8%)	< 30> ( 2.9%)	199 ( 4.9%)	< 38> ( 3.3%)
07.保健衛生用品	12 ( 0.7%)	19 ( 1.2%)	26 ( 1.2%)	17 ( 0.8%)	25 ( 0.8%)	119 ( 2.0%)	< 9> ( 0.8%)	29 ( 0.6%)	< 5> ( 0.4%)	120 ( 3.2%)	< 3> ( 0.3%)	59 ( 1.4%)	< 4> ( 0.4%)	20 ( 0.5%)	< 10> ( 0.9%)
08.レジャー用品	24 ( 1.4%)	31 ( 1.9%)	42 ( 2.0%)	59 ( 2.9%)	29 ( 1.0%)	109 ( 1.8%)	< 13> ( 1.2%)	104 ( 2.3%)	< 17> ( 1.3%)	83 ( 2.2%)	< 16> ( 1.5%)	90 ( 2.1%)	< 14> ( 1.4%)	76 ( 1.9%)	< 20> ( 1.7%)
09.乳幼児用品	8 ( 0.5%)	49 ( 3.1%)	45 ( 2.1%)	6 ( 0.3%)	21 ( 0.6%)	130 ( 2.2%)	< 4> ( 0.4%)	130 ( 2.9%)	< 12> ( 0.9%)	81 ( 2.1%)	< 6> ( 0.6%)	90 ( 2.1%)	< 5> ( 0.5%)	21 ( 0.5%)	< 2> ( 0.2%)
10.繊維製品	7 ( 0.4%)	9 ( 0.5%)	4 ( 0.2%)	7 ( 0.3%)	20 ( 0.6%)	13 ( 0.1%)	< 1> ( 0.1%)	28 ( 0.5%)	< 5> ( 0.4%)	35 ( 1.0%)	< 2> ( 0.2%)	29 ( 0.7%)	< 2> ( 0.0%)	27 ( 0.7%)	< 2> ( 0.2%)
11.その他	2 ( 0.2%)	0 ( 0.0%)	0 ( 0.0%)	0 ( 0.0%)	0 ( 0.0%)	2 ( 0.1%)	< 0> ( 0.0%)	0 ( 0.0%)	< 0> ( 0.0%)						
総計	1712 (100.0%)	1592 (100.0%)	2115 (100.0%)	2043 (100.0%)	3008 (100.0%)	5935 (100.0%)	<1,093> (100.0%)	4543 (100.0%)	<1,288> (100.0%)	3789 ( 99.9%)	<1,050> (100.0%)	4189 (100.0%)	<1,030> (100.0%)	4021 (100.0%)	<1,147> (100.0%)

(注) ( )内の数字は、各年度の通知件数に占める商品区分毎の割合を百分率で表したものである。

図1 事故件数の年度別推移

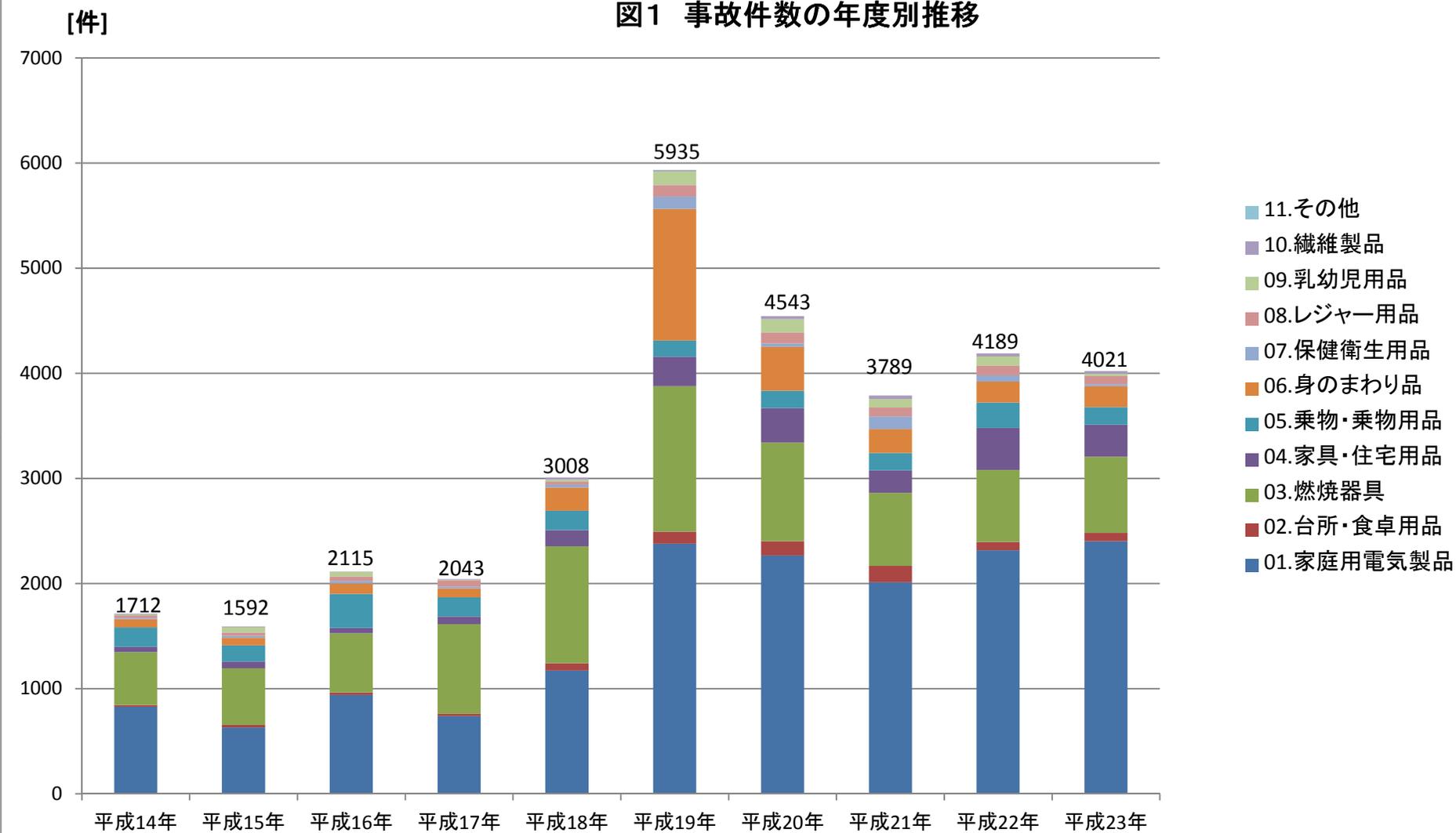


表2 製品区分別被害状況

平成23年度  
[件]

製品区分	被害状況			人的被害の発生した事故			人的被害の発生しなかった事故		
	合計	死亡	重傷	軽傷	拡大被害	製品破損	被害なし		
01.家庭用電気製品	2,410 2,315 2,010	18 11 14	25 23 30	103 144 226	505 517 544	1,698 1,603 1,150	61 17 46		
02.台所・食卓用品	78 79 158	0 0 0	8 8 7	26 39 71	4 5 5	38 26 71	2 1 4		
03.燃焼器具	724 686 695	23 15 25	14 17 15	97 89 100	247 268 283	318 280 230	25 17 42		
04.家具・住宅用品	297 399 214	19 13 7	56 79 58	89 109 83	44 34 18	84 162 47	5 2 1		
05.乗物・乗物用品	169 241 164	5 8 11	58 57 60	61 114 56	1 2 3	38 57 33	6 3 1		
06.身のまわり品	199 201 229	1 0 0	23 26 27	77 83 98	37 20 38	54 65 29	7 7 37		
07.保健衛生用品	20 59 120	2 0 0	8 1 2	8 52 31	2 5 5	0 1 81	0 0 1		
08.レジャー用品	76 90 83	0 0 0	17 14 17	22 51 39	2 3 2	34 20 24	1 2 1		
09.乳幼児用品	21 90 81	0 0 0	1 4 6	15 45 64	0 22 0	5 19 9	0 0 2		
10.繊維製品	27 29 35	0 0 0	2 0 2	14 15 14	1 1 0	1 4 0	9 9 19		
11.その他	0 0 0	0 0 0	0 0 0	0 0 0	0 0 0	0 0 0	0 0 0		
総計	4,021 4,189 3,789	68 47 57	212 229 224	512 741 782	843 877 898	2,270 2,237 1,674	116 58 154		

- (注)1. 被害状況については、製品の問題の有無を問わずにみた件数である。  
 2. 重傷とは、全治1か月以上のけがをいう。  
 3. 拡大被害は、製品以外に他の物的被害に及んだものをいう。  
 4. 各欄内の数値は(平成23年度、平成22年度、平成21年度)に収集した事故情報の調査結果に基づき製品区分別の被害状況を集計したものである。

表3 製品区分別事故原因

平成23年度  
[件]

事故原因 製品区分	A:専ら設計上、製造上又は表示等に問題があったと考えられるもの	B:製品自体に問題があり、使い方も事故発生に影響したと考えられるもの	C:製造後長期間経過したり、長期間の使用により性能が劣化したものと考えられるもの	G3:製品起因であるが、その原因が不明のもの	D:業者による工事、修理又は輸送中の取り扱い等に問題があったと考えられるもの	E:専ら誤使用や不注意な使い方と考えられるもの	F:その他製品に起因しないと考えられるもの	G1、G2:原因不明のもの	重大製品事故	[小計]調査が終了したもの	H:調査中のもの	合計
01.家庭用電気製品	938 1,221 631	11 15 19	12 65 52	397 225 198	8 22 31	28 159 245	24 69 101	146 158 430	167 294 299	1,731 2,228 2,006	679 87 4	2,410 2,315 2,010
02.台所・食卓用品	10 23 56	14 5 5	0 0 4	1 1 3	0 0 0	4 15 24	0 3 5	7 24 57	2 5 4	38 76 158	40 3 0	78 79 158
03.燃焼器具	15 25 27	0 3 2	11 21 20	6 10 6	8 25 31	101 284 306	27 99 96	89 87 78	65 120 129	322 674 695	402 12 0	724 686 695
04.家具・住宅用品	52 71 46	4 6 9	0 1 0	33 136 6	1 10 7	29 74 62	9 26 38	13 33 24	12 32 22	153 389 214	144 10 0	297 399 214
05.乗物・乗物用品	16 35 31	9 21 2	0 0 2	0 7 8	3 19 10	5 20 29	9 30 30	17 67 28	13 26 24	72 225 164	97 16 0	169 241 164
06.身のまわり品	74 86 112	0 3 4	0 1 1	3 5 15	0 0 1	2 17 31	4 21 18	15 50 37	6 7 6	104 190 225	95 11 4	199 201 229
07.保健衛生用品	0 6 106	0 14 1	0 0 0	0 21 0	0 0 0	0 1 5	1 7 2	0 8 4	2 2 2	3 59 120	17 0 0	20 59 120
08.レジャー用品	9 16 29	1 13 5	1 2 6	0 0 1	0 0 2	6 20 13	2 4 8	4 24 9	6 9 10	29 88 83	47 2 0	76 90 83
09.乳幼児用品	4 63 4	9 5 38	0 0 0	0 1 1	0 0 0	0 14 9	1 1 4	0 3 21	0 1 4	14 88 81	7 2 0	21 90 81
10.繊維製品	10 9 6	0 0 0	0 0 0	0 0 1	0 0 0	0 0 0	3 2 9	2 13 19	0 0 0	15 24 35	12 5 0	27 29 35
11.その他	0 0 0	0 0 0	0 0 0	0 0 0	0 0 0	0 0 0	0 0 0	0 0 0	0 0 0	0 0 0	0 0 0	0 0 0
合計	1,128 1,555 1,048	48 85 85	24 90 85	440 406 239	20 76 82	175 604 724	80 262 311	293 467 707	273 496 500	2,481 4,041 3,781	1,540 148 8	4,021 4,189 3,789

(注)1. 各欄内の数値は(平成23年度、平成22年度、平成21年度)に収集した事故情報の調査結果に基づき製品区分別の事故原因を集計したものである。

2. 重大製品事故とは、経済産業省及び消費者庁に報告された重大製品事故情報のうち、経済産業省及び消費者庁が製品に起因する事故及び原因不明であると判断したものである。

表4 事故原因別被害状況

平成23年度  
[件]

事故原因	被害状況		人的被害の発生した事故			人的被害の発生しなかった事故		
	合計		死亡	重傷	軽傷	拡大被害	製品破損	被害なし
A:専ら設計上、製造上又は表示等に問題があったと考えられるもの	1,128	1,555 1,048	0	1	55	28	986	58
			0	0	190	114	1,238	13
			0	5	213	103	670	57
B:製品自体に問題があり、使い方も事故発生に影響したと考えられるもの	48	85 85	0	0	25	6	16	1
			0	1	64	4	15	1
			0	3	57	2	23	0
C:製造後長期間経過したり、長期間の使用により性能が劣化したものと考えられるもの	24	90 85	0	1	1	2	20	0
			0	0	2	10	76	2
			0	0	7	20	49	9
G3:製品起因であるが、その原因が不明のもの	440	406 239	0	0	4	35	399	2
			0	0	29	54	322	1
			0	0	38	38	161	2
D:業者による工事、修理又は輸送中の取り扱い等に問題があったと考えられるもの	20	76 82	0	0	5	8	7	0
			1	4	21	25	25	0
			1	5	20	27	29	0
E:専ら誤使用や不注意な使い方と考えられるもの	175	604 724	5	5	54	47	58	6
			14	58	161	205	147	19
			19	64	192	276	154	19
F:その他製品に起因しないと考えられるもの	80	262 311	6	15	17	20	18	4
			14	58	58	90	37	5
			21	62	55	91	65	17
G1、G2:原因不明のもの	293	467 707	1	1	50	27	199	15
			3	6	158	79	205	16
			6	2	167	95	387	50
重大事故	273	496 500	8	36	15	115	99	0
			11	82	29	223	151	0
			10	80	32	245	133	0
[小計]調査が終了したもの	2,481	4,041 3,781	20	59	226	288	1,802	86
			43	209	712	804	2,216	57
			57	221	781	897	1,671	154
H:調査中のもの	1,540	148 8	48	153	286	555	468	30
			4	20	29	73	21	1
			0	3	1	1	3	0
合計	4,021	4,189 3,789	68	212	512	843	2,270	116
			47	229	741	877	2,237	58
			57	224	782	898	1,674	154

(注)1. 各欄内の数値は(平成23年度、平成22年度、平成21年度)に収集した事故情報の調査結果に基づき事故原因別の被害状況を集計したものである。

2. 重大製品事故とは、経済産業省及び消費者庁に報告された重大製品事故情報のうち、経済産業省及び消費者庁が製品に起因する事故及び原因不明であると判断したものである。

表5 製品区分別再発防止措置等の実施状況

(製品に起因する事故) 平成23年度  
[件]

製品区分	発防止措置の実施状況			製品の交換、部品の交換、安全点検等を行ったもの	製品の製造、販売又は輸入を中止したもの	製品の改良、製造工程の改善、品質管理の強化等を行ったもの	表示の改善、取扱説明書の見直し等を行ったもの	政府、団体、事業者等の広報等により消費者に注意を喚起したもの	被害者への措置、損害賠償、製品交換等、個別的な措置												
	措置実施件数																				
01.家庭用電気製品	1,280	1,385	770	738	785	508	94	133	71	77	1,108	384	387	153	58	1,082	1,145	568	716	1,061	516
02.台所・食卓用品	23	26	65	8	1	2	14	3	8	15	22	103	15	7	4	9	3	5	4	18	11
03.燃焼器具	36	72	80	23	55	63	0	7	2	16	17	28	0	2	2	29	63	72	18	40	52
04.家具・住宅用品	92	226	60	101	179	19	144	292	11	38	87	48	6	30	11	80	184	18	41	190	44
05.乗物・乗物用品	36	65	49	24	60	23	14	15	17	19	38	37	10	7	5	22	43	11	17	52	29
06.身のまわり品	73	86	116	51	79	102	18	8	24	50	52	12	18	2	3	43	48	64	32	46	97
07.保健衛生用品	1	43	109	1	40	102	2	52	3	0	24	207	0	3	99	1	39	101	1	24	103
08.レジャー用品	16	28	34	15	9	19	1	2	8	14	12	27	0	18	8	14	21	18	15	20	26
09.乳幼児用品	13	70	45	2	16	6	3	3	0	5	79	10	5	4	1	4	53	38	12	31	43
10.繊維製品	10	9	5	6	6	5	3	5	0	11	15	8	2	1	0	6	5	1	6	6	5
合計	1,580	2,010	1,333	969	1,230	849	293	520	144	245	1,454	864	443	227	191	1,290	1,604	896	862	1,488	926

(注)1. 収集された事故に関して複数の措置が取られたものは、措置ごとに集計した。

2. 各欄内の数値は(平成23年度、平成22年度、平成21年度)に収集した事故情報の調査結果に基づき製品区分別の再発防止措置等の実施状況を集計したものである。

3. 個別措置のみのものを除く。